

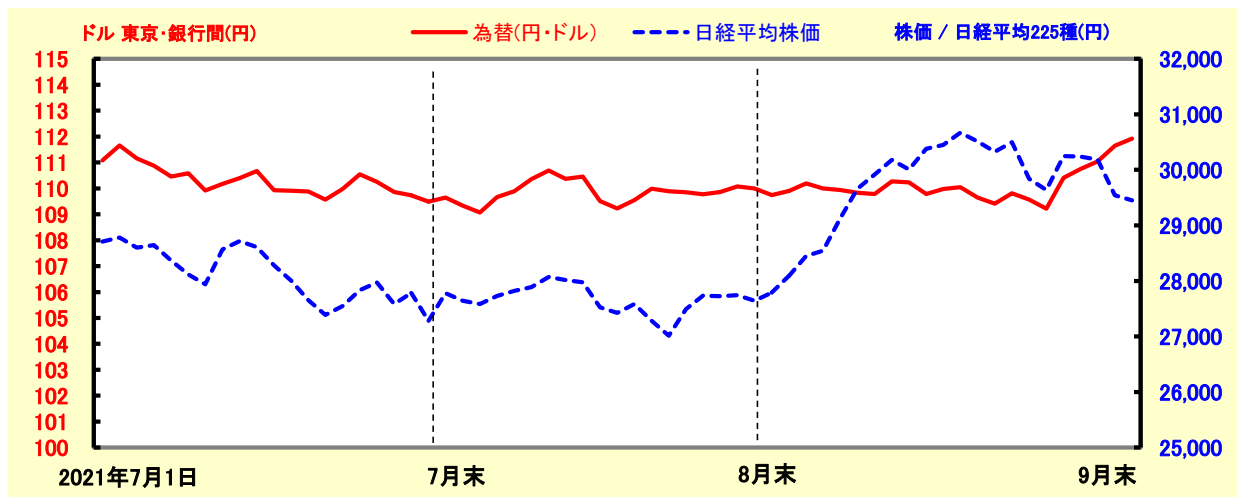
みらいしんきん Report

景気動向調査のまとめ

調査期間 2021年7月～9月

大分みらい信用金庫では、3ヶ月毎に「中小企業景気動向調査」を実施しています。

株価と為替の動き



調査内容

2021年7～9月期の業況/2021年10～12月期の業況予想

今回の調査実施時期

2021年9月上旬

調査先数

大分市・別府市・中津市・宇佐市・豊後高田市・由布市・日出町・福岡県築上郡(事業所215先)

調査先業種内訳

製造業	31先	小売業	60先
卸売業	25先	サービス業	59先
建設業	23先	不動産業	17先

調査方法

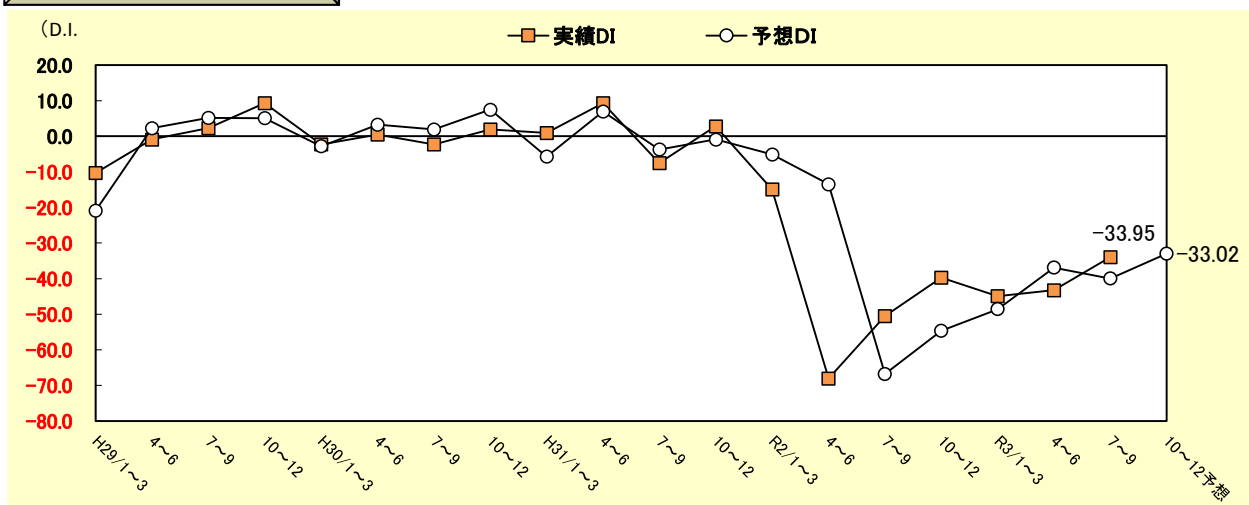
面接・聞き取りによる感触調査

分析方法

各質問項目で、「増加」(上昇)したとする事業所の全体に占める割合と、「減少」(下降)したとする事業所の割合との差(判断DI)で分析しています。

県内経済概況

業況判断・実績DI/予想DI値推移



業種別天気図

表の見方



	7~9月期実績				9~12月期予想			
	総合	別府	大分	県北	総合	別府	大分	県北
総合	▲34.0	▲47.3	▲28.6	▲15.0	▲33.0	▲49.5	▲23.8	▲15.0
製造業	▲35.4	▲43.7	▲60.0	▲10.0	▲32.2	▲43.7	▲40.0	▲10.0
小売業	▲38.3	▲61.5	▲23.0	▲12.5	▲36.6	▲61.5	▲19.2	▲12.5
卸売業	▲40.0	▲33.3	▲60.0	▲16.6	▲36.0	▲44.4	▲40.0	▲16.6
サービス業	▲50.0	▲64.2	▲28.5	▲100.0	▲50.0	▲60.7	▲32.1	▲100.0
建設業	4.5	20.0	▲11.1	12.5	4.5	20.0	▲11.1	12.5
不動産業	0.0	0.0	0.0	0.0	▲5.8	▲28.5	16.6	0.0

7月～9月の県内経済概況

2021年7月～9月の調査地域全域における企業の景況感を示す総合業況DIは▲34.0となり、前期比9.3ポイント上昇となっています。

業種別の状況を見ると、製造業は▲35.4となり、前期比22.6ポイント上昇、小売業は▲38.3となり、前期比1.7ポイント下降、卸売業は▲40.0となり、前期比4.0ポイント上昇、サービス業は▲50.0となり、前期比18.3ポイント上昇、建設業は4.5となり、前期比9.0ポイント上昇、不動産業は0.0となり、前期と同水準となっています。

地域別では、別府市が▲47.3となり、前期比8.8ポイント上昇、大分地区が▲28.6となり、前期比1.2ポイント下降、県北地区が▲15.0となり、前期比32.5ポイント上昇となっています。

業種別景況

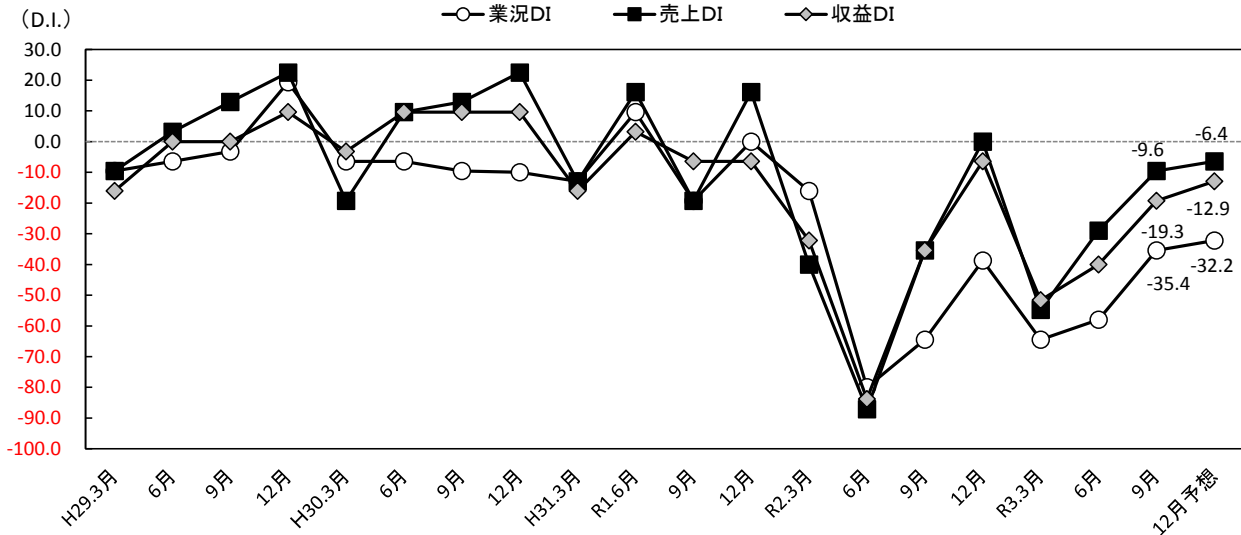
製造業

● 当期(7月～9月)の景況

全域における業況DIは▲35.4となり、前期比22.6ポイント上昇、前年同期比29.1ポイント上昇となっています。売上DIは▲9.6となり、前期比19.4ポイント上昇、前年同期比25.8ポイント上昇となっています。収益DIは▲19.3となり、前期比20.7ポイント上昇、前年同期比16.1ポイント上昇となっています
 地域別の業況DIでは、別府地区が▲43.7となり、前期比37.5ポイント上昇、前年同期比31.3ポイント上昇、大分地区が▲60.0となり、前期比40.0ポイント下降、前年同期比20.0ポイント下降、県北地区が▲10.0となり、前期比30.0ポイント上昇、前年同期比50.0ポイント上昇となっています。

● 来期(10月～12月)の見通し

全域における業況予想DIは▲32.2となり、今期比3.2ポイント上昇となっています。売上予想DIは▲6.4となり、今期比3.2ポイント上昇となっています。収益予想DIは▲12.9となり、今期比6.4ポイント上昇となっています。
 地域別の業況予想DIでは、別府地区が▲43.7、大分地区が▲40.0、県北地区が▲10.0となっています。



経営上の問題点と重要経営施策

経営上の問題点

売上停滞・減少	28.7%
原材料高	13.6%
人手不足	9.0%
同業者間の競争激化	7.5%
利幅の縮小	6.0%

最重要経営施策

販路拡大	24.2%
経費節減	18.1%
新製品・技術開発	12.1%
人材確保	12.1%
情報力強化	9.0%

経営者のみなさまの主なコメント

- コロナの影響から操業停止。工場売却による債務圧縮を図っていく。(パン・菓子製造)
- コロナの影響があったが、新工場稼働により売上は増加傾向である。(精密板金製造)
- 7月～9月は、学校給食がない時期なので売上は毎期減少している。(天ぷら製造)

小 売 業

● 当期(7月～9月)の景況

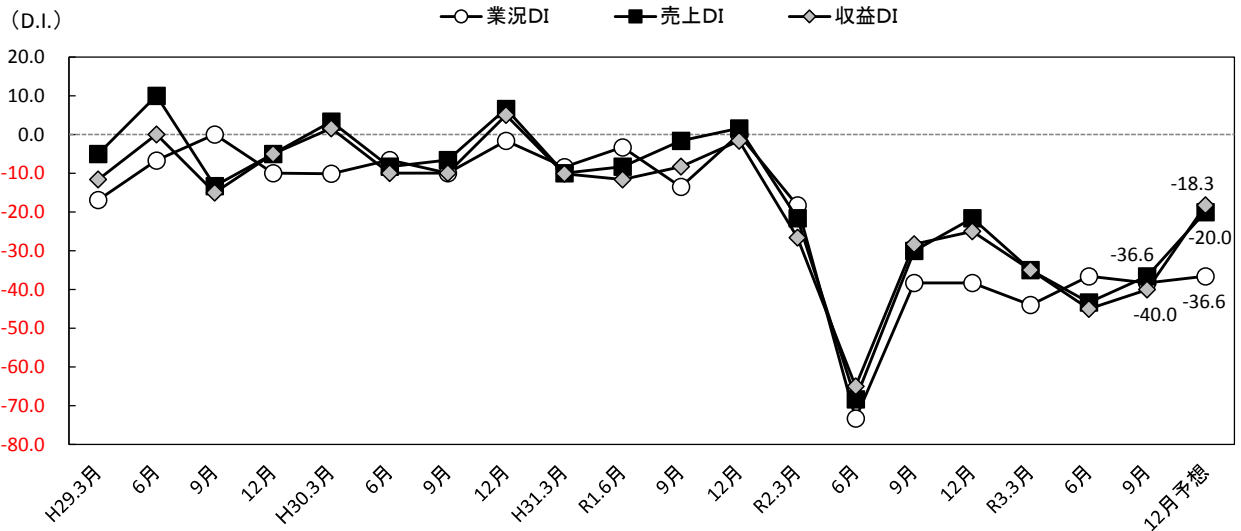
全域における業況DIは▲38.3となり、前期比1.7ポイント下降、前年同期と同水準となっています。売上DIは▲36.6となり、前期比6.7ポイント上昇、前年同期比6.6ポイント下降となっています。収益DIは▲40.0となり、前期比5.0ポイント上昇、前年同期比11.7ポイント下降となっています。

地域別の業況DIでは、別府地区が▲61.5となり、前期比15.4ポイント下降、前年同期比3.8ポイント上昇、大分地区が▲23.0となり、前期比3.8ポイント下降、前年同期と同水準、県北地区が▲12.5となり、前期比50.0ポイント上昇、前年同期比12.5ポイント下降となっています。

● 来期(10月～12月)の見通し

全域における業況予想DIは▲36.6となり、今期比1.7ポイント上昇となっています。売上予想DIは▲20.0となり、今期比16.6ポイント上昇となっています。収益予想DIは▲18.3となり、今期比21.7ポイント上昇となっています。

地域別の業況予想DIでは、別府地区が▲61.5、大分地区が▲19.2、県北地区が▲12.5となっています。



経営上の問題点と重要経営施策

経営上の問題点

売上停滞・減少	23.2%
同業者間の競争激化	12.6%
大型店競争激化	9.1%
天候不順	6.3%
取引先減少	5.6%

最重要経営施策

経費節減	54.7%
売筋商品取扱	35.7%
品揃え改善	30.9%
宣伝・広告強化	26.1%
人材確保	21.4%

経営者のみなさまの主なコメント

- 販売部数は年々減少傾向にある。永年の取引先への配達にて売上を確保している。(書籍販売業)
- 主要取引先への配達により売上は確保しているが、お茶に対する需要が低下している。(お茶販売)
- コロナの影響は避けられないが、手堅い取引先を中心に利益確保を目指していく。(牛・豚・鳥肉販売)
- 競合店が多く供給過多の状態である。取引先への配達により売上確保している。(酒類販売)
- 人手は適正であり、現状は人材について問題ない。(コマ販売)
- コロナの影響から、売上が落ち込んでいる。(米穀食品・酒類販売)
- 人材不足と設備の老朽化が引き続き課題である。(家具販売)
- コロナの影響から、売上は微減傾向にある。(化粧品販売)
- 若年層の社員を雇用しており、人材面について問題ない。(自動二輪車販売)
- コロナの影響から、在宅需要が上昇しているため売上は順調であった。人材確保をしたい。(家電販売)
- 酒類の売上は減少方向。現状の範囲で営業していく。(飲食料品販売)

卸 売 業

● 当期(7月～9月)の景況

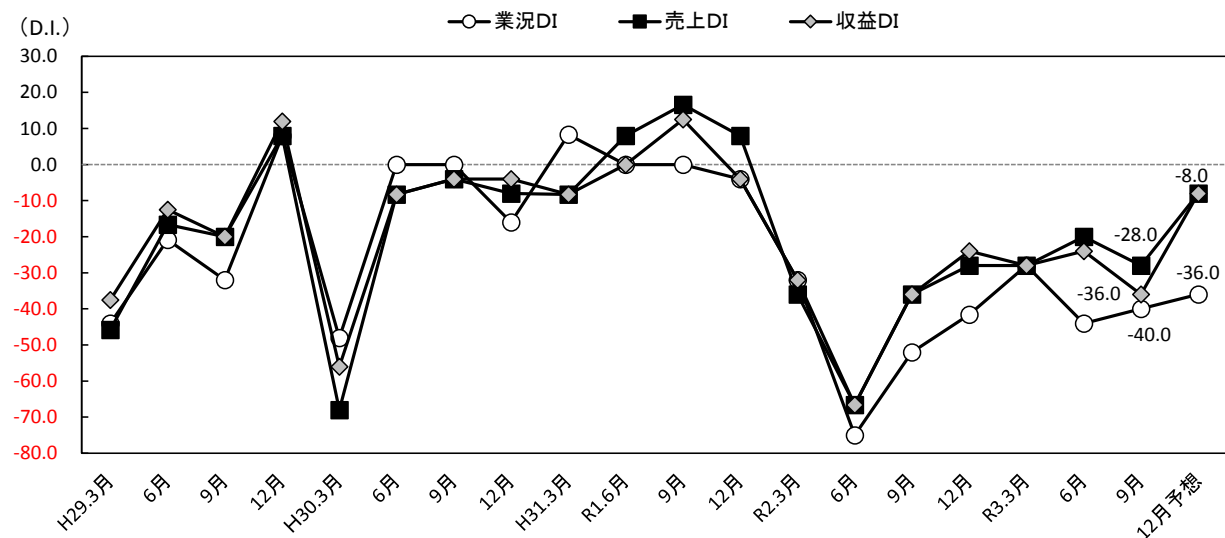
全域における業況DIは▲40.0となり、前期比4.0ポイント上昇、前年同期比12.0ポイント上昇となっています。売上DIは▲28.0となり、前期比8.0ポイント下降、前年同期比8.0ポイント上昇となっています。収益DIは▲36.0となり、前期比12.0ポイント下降、前年同期と同水準となっています。

地域別の業況DIでは、別府地区が▲33.3となり、前期比33.3ポイント上昇、前年同期と同水準、大分地区が▲60.0となり、前期比50.0ポイント下降、前年同期比10.0ポイント上昇、県北地区が▲16.6となり、前期比50.0ポイント上昇、前年同期比33.4ポイント上昇となっています。

● 来期(10月～12月)の見通し

全域における業況予想DIは▲36.0となり、今期比4.0ポイント上昇となっています。売上予想DIは▲8.0となり、今期比20.0ポイント上昇となっています。収益予想DIは▲8.0となり、今期比28.0ポイント上昇となっています。

地域別の業況予想DIでは、別府地区が▲44.4、大分地区が▲40.0、県北地区が▲16.6となっています。



経営上の問題点と重要経営施策

経営上の問題点

売上停滞・減少	26.0%
同業者間の競争激化	12.0%
取引先減少	10.0%
利幅縮小	8.0%
仕入先からの値上要請	8.0%

最重要経営施策

経費節減	23.8%
販路拡大	23.8%
品揃えの充実化	14.2%
情報力強化	9.5%
特になし	9.5%

経営者のみなさまの主なコメント

- コロナの影響から、取引先が打撃をうけている。当然に、売上が伸び悩んでいる。(食品卸売)
- 木材の価格が高騰。仕入れを確保することが最重要となっている。(木材卸)
- コロナ禍で、給食関係がキャンセル。大雨で、野菜が高騰と厳しい環境下にある。(カット野菜卸)
- コロナの影響があり、釣りの需要が増加している。伴い、釣り具の売上が増加基調にある。(釣り具卸)
- ウッドショックの影響から、仕入れ価格が上昇し今後は心配である。(建築材料卸)

サービス業

● 当期(7月～9月)の景況

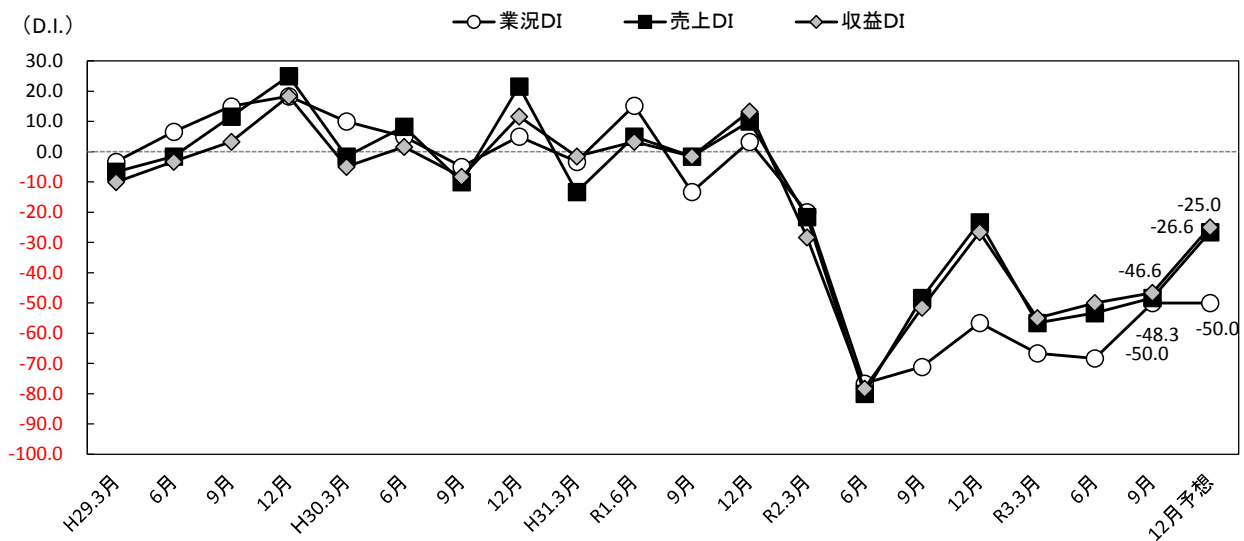
全域における業況DIは▲50.0となり、前期比18.3ポイント上昇、前年同期比21.1ポイント上昇となっています。売上DIは▲48.3となり、前期比5.0ポイント上昇、前年同期と同水準となっています。収益DIは▲46.6となり、前期比3.4ポイント上昇、前年同期比5.0ポイント上昇となっています

地域別の業況DIでは、別府地区が▲64.2となり、前期比14.3ポイント上昇、前年同期比17.9ポイント上昇、大分地区が▲28.5となり、前期比25.0ポイント上昇、前年同期比30.7ポイント上昇、県北地区が▲100.0となり、前期と同水準、前年同期比25.0ポイント下降となっています。

● 来期(10月～12月)の見通し

全域における業況予想DIは▲50.0となり、今期と同水準となっています。売上予想DIは▲26.6となり、今期比21.7ポイント上昇となっています。収益予想DIは▲25.0となり、今期比21.6ポイント上昇となっています。

地域別の業況予想DIでは、別府地区が▲60.7、大分地区が▲32.1、県北地区が▲100.0となっています。



経営上の問題点

売上停滞・減少	30.6%
同業者間の競争激化	13.7%
人手不足	8.8%
天候不順	6.4%
その他	5.6%

最重要経営施策

販路拡大	22.8%
経費節減	21.1%
宣伝・広告強化	13.5%
技術力強化	6.7%
提携先探す	5.9%

経営者のみなさまの主なコメント

- コロナの影響から、昨年以上に売上が減少している。少数精鋭で経営しており手持ち金から不足は対応している。(飲食業)
- コロナ禍で、大ダメージを受けている。終息に向かえば回復は期待できるが不安である。(宿泊業)
- 理容を一人で営んでいる。後継者はなく、あと何年続けるか悩みどころ。(理容業)
- コロナの影響から、売上高は大幅に減少。業況は非常に厳しい。(宿泊業)
- 近いうちに代表者の変更や廃業を視野に入れている。(美容業)
- 後継者育成が最大の課題。(総合治療院)
- コロナの影響をもろに受けている。今後も心配である。(飲食業)
- 主要取引先がコロナの影響で、売上が低下しており非常に不安である。今後は注視していく。(ビルメンテナンス)
- 一人経営で小規模形態を維持していく。(理容業)
- コロナの影響を受け、夜間等の利用客が減少。利用客を大事にしている。(旅客運送業)
- コロナ禍で売上が減少している。補助金で商品開発予定している。(飲食業)

建設業

● 当期(7月～9月)の景況

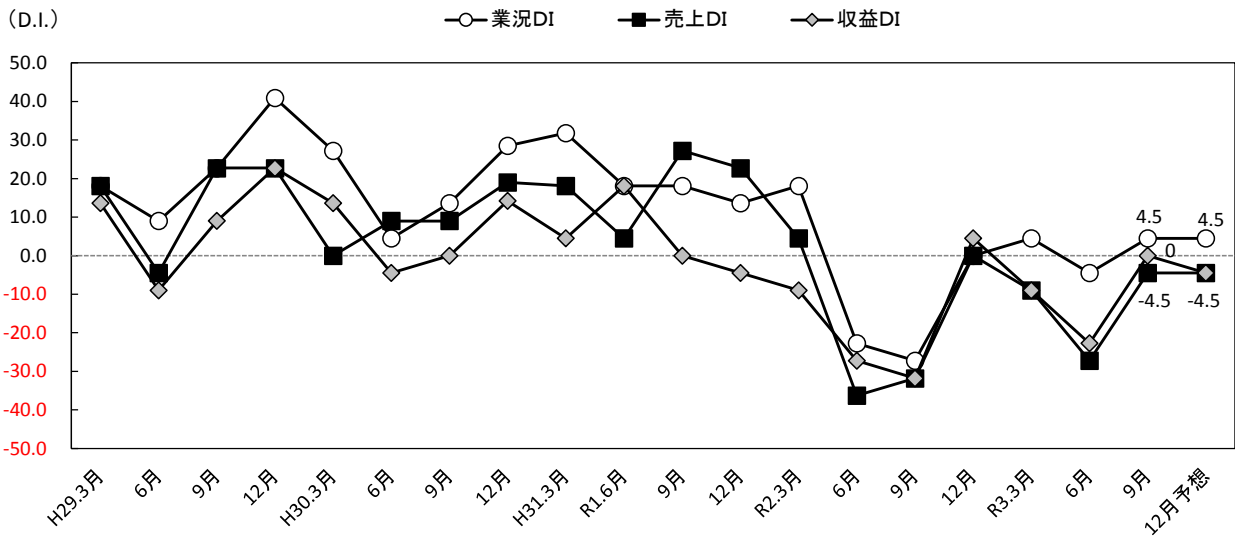
全域における業況DIは4.5となり、前期比9.0ポイント上昇、前年同期比31.7ポイント上昇となっています。売上DIは▲4.5となり、前期比22.7ポイント上昇、前年同期比27.3ポイント上昇となっています。収益DIは0.0となり、前期比22.7ポイント上昇、前年同期比31.8ポイント上昇となっています。

地域別の業況DIでは、別府地区が20.0となり、前期と同水準、前年同期比20.0ポイント上昇、大分地区が▲11.1となり、前期と同水準、前年同期比22.2ポイント上昇、県北地区が12.5となり、前期比25.0ポイント上昇、前年同期比50.0ポイント上昇となっています。

● 来期(10月～12月)の見通し

全域における業況予想DIは4.5となり、今期と同水準となっています。売上予想DIは▲4.5となり、今期と同水準となっています。収益予想DIは▲4.5となり、今期比4.5ポイント下降となっています。

地域別の業況予想DIでは、別府地区が20.0、大分地区が▲11.1、県北地区が12.5となっています。



経営上の問題点と重要経営施策

経営上の問題点

材料価格の上昇	20.7%
同業者間の競争激化	18.8%
人手不足	18.8%
利幅縮小	7.5%
天候不順	7.5%

最重要経営施策

人材確保	25.0%
販路拡大	16.6%
経費節減	16.6%
技術力向上	12.5%
情報力強化	8.3%

経営者のみなさまの主なコメント

- 従業員の高齢化が進んでいる。今後について、若手を積極的に採用し人材育成に特化していく。(公共工事主体の工務店)
- コロナの影響により、売上は減少傾向。(建築業)
- コロナの影響から公共工事の受注が激減した。また、ウッドショックにより、材料価格が高騰している。(土木建築業)
- 業況は、良好である。(土木工事業)

不動産業

● 当期(7月～9月)の景況

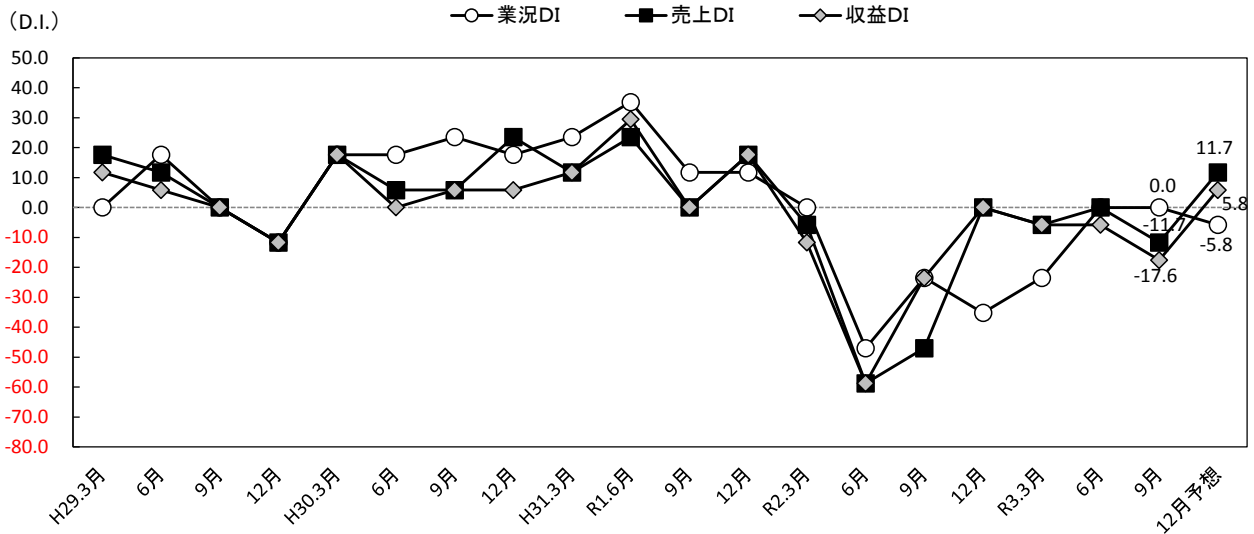
全域における業況DIは0.0となり、前期と同水準、前年同期比23.5ポイント上昇となっています。売上DIは▲11.7となり、前期比11.7ポイント下降、前年同期比35.3ポイント上昇となっています。収益DIは▲17.6となり、前期比11.8ポイント下降、前年同期比5.9ポイント上昇となっています。

地域別の業況DIでは、別府地区が0.0となり、前期比14.2ポイント下降、前年同期と同水準、大分地区が0.0となり、前期と同水準、前年同期比33.3ポイント上昇、県北地区が0.0となり、前期比25.0ポイント上昇、前年同期比50.0ポイント上昇となっています。

● 来期(10月～12月)の見通し

全域における業況予想DIは▲5.8となり、今期比5.8ポイント下降となっています。売上予想DIは11.7となり、今期比23.4ポイント上昇となっています。収益予想DIは5.8となり、今期比23.4ポイント上昇となっています。

地域別の業況予想DIでは、別府地区が▲28.5、大分地区が16.6、県北地区が0.0となっています。



経営上の問題点と重要経営施策

経営上の問題点

商品物件不足	29.0%
同業者間の競争激化	19.3%
商品物件高騰	12.9%
利幅縮小	9.6%
人手不足	9.6%

最重要経営施策

宣伝・広告強化	30.3%
情報力強化	21.2%
販路拡大	18.1%
経費節減	9.0%
人材確保	9.0%

経営者のみなさまの主なコメント

- 不動産賃貸業を営んでいるがコロナの影響は、ほとんどなく従業員も適正人数であり、新規雇用は現状ない。(不動産賃貸業)
- コロナの影響から不動産売却のニーズが増加している。しかし、収益性の低い高額な物件が増えていることから成約がとづらい状況にある。(不動産仲介業)
- 人手不足が課題。(不動産業)
- 子育てとの両立等、女性従業員の働きやすい環境を整えていることから、従業員全員が女性であり、退職者が出た際も引き続き女性を採用している。(不動産業)
- 学生用アパート等の収益性不動産に対する需要は引き続きあるものの絶対数が不足している。(不動産・仲介業)

D I 数 値

全域合計

		総合	製造業	小売業	卸売業	サービス業	建設業	不動産業
業 況	7月～9月実績	△ 34.0	△ 35.4	△ 38.3	△ 40.0	△ 50.0	4.5	0.0
	10月～12月予想	△ 33.0	△ 32.2	△ 36.6	△ 36.0	△ 50.0	4.5	△ 5.8
売 上	7月～9月実績	△ 29.8	△ 9.6	△ 36.6	△ 28.0	△ 48.3	△ 4.5	△ 11.7
	10月～12月予想	△ 14.4	△ 6.4	△ 20.0	△ 8.0	△ 26.6	△ 4.5	11.7
受注残	7月～9月実績	△ 15.1	△ 19.3	***	***	***	△ 9.0	***
	10月～12月予想	△ 7.5	△ 6.4	***	***	***	△ 9.0	***
施工高	7月～9月実績	0.0	***	***	***	***	0.0	***
	10月～12月予想	△ 9.1	***	***	***	***	△ 9.0	***
収 益	7月～9月実績	△ 32.6	△ 19.3	△ 40.0	△ 36.0	△ 46.6	0.0	△ 17.6
	10月～12月予想	△ 14.9	△ 12.9	△ 18.3	△ 8.0	△ 25.0	△ 4.5	5.8
販売価格	7月～9月実績	5.1	6.4	6.6	3.8	△ 3.3	13.6	17.6
	10月～12月予想	5.5	3.2	6.6	0.0	4.4	9.0	11.7
仕入価格	7月～9月実績	18.6	32.2	11.6	8.0	3.3	77.2	11.7
	10月～12月予想	17.2	16.1	10.0	12.0	6.6	72.7	17.6
在庫	7月～9月実績	1.3	3.2	1.6	△ 16.0	***	4.5	17.6
	10月～12月予想	△ 0.6	0.0	1.6	△ 20.0	***	0.0	17.6
資金繰り	7月～9月実績	△ 14.4	△ 6.4	△ 13.3	△ 4.0	△ 28.3	0.0	△ 17.6
	10月～12月予想	△ 14.0	△ 6.4	△ 13.3	△ 8.0	△ 23.3	△ 4.5	△ 17.6
残業時間	7月～9月実績	△ 7.0	△ 3.2	△ 5.0	0.0	△ 10.1	△ 13.6	△ 11.7
	10月～12月予想	△ 2.3	△ 3.2	△ 1.6	4.0	△ 1.6	△ 9.0	△ 5.8
人手状況	7月～9月実績	△ 14.9	△ 9.6	△ 11.6	△ 8.0	△ 11.6	△ 45.4	△ 17.6
	10月～12月予想	△ 13.5	△ 3.2	△ 11.6	△ 12.0	△ 11.6	△ 40.9	△ 11.7

別府地区

		総合	製造業	小売業	卸売業	サービス業	建設業	不動産業
業 況	7月～9月実績	△ 47.3	△ 43.7	△ 61.5	△ 33.3	△ 64.2	20.0	0.0
	10月～12月予想	△ 49.5	△ 43.7	△ 61.5	△ 44.4	△ 60.7	20.0	△ 28.5
売 上	7月～9月実績	△ 34.1	△ 12.5	△ 50.0	△ 11.1	△ 53.5	20.0	△ 14.2
	10月～12月予想	△ 22.0	△ 12.5	△ 34.6	△ 11.1	△ 32.1	0.0	14.2
受注残	7月～9月実績	△ 9.5	△ 18.7	***	***	***	20.0	***
	10月～12月予想	△ 14.3	△ 18.7	***	***	***	0.0	***
施工高	7月～9月実績	20.0	***	***	***	***	20.0	***
	10月～12月予想	20.0	***	***	***	***	20.0	***
収 益	7月～9月実績	△ 39.6	△ 25.0	△ 53.8	△ 22.2	△ 53.5	20.0	△ 28.5
	10月～12月予想	△ 20.9	△ 18.7	△ 26.9	0.0	△ 39.2	20.0	14.2
販売価格	7月～9月実績	4.4	0.0	11.5	△ 11.1	0.0	20.0	14.2
	10月～12月予想	3.3	6.2	3.8	0.0	0.0	0.0	14.2
仕入価格	7月～9月実績	15.4	25.0	15.3	0.0	0.0	100.0	14.2
	10月～12月予想	16.5	18.7	11.5	11.1	3.5	100.0	28.5
在庫	7月～9月実績	1.6	6.2	△ 7.6	11.1	***	20.0	0.0
	10月～12月予想	△ 3.2	0.0	△ 7.6	0.0	***	0.0	0.0
資金繰り	7月～9月実績	△ 22.0	△ 12.5	△ 23.0	0.0	△ 35.7	△ 20.0	△ 14.2
	10月～12月予想	△ 22.0	△ 12.5	△ 23.0	△ 11.1	△ 32.1	△ 20.0	△ 14.2
残業時間	7月～9月実績	△ 8.9	△ 12.5	△ 7.6	0.0	△ 11.1	△ 20.0	0.0
	10月～12月予想	△ 2.2	0.0	△ 3.8	0.0	0.0	△ 20.0	0.0
人手状況	7月～9月実績	△ 8.8	0.0	△ 3.8	△ 11.1	△ 7.1	△ 80.0	0.0
	10月～12月予想	△ 5.5	6.2	△ 3.8	△ 11.1	△ 3.5	△ 60.0	0.0

大分地区

		総合	製造業	小売業	卸売業	サービス業	建設業	不動産業
業況	7月～9月実績	△ 28.6	△ 60.0	△ 23.0	△ 60.0	△ 28.5	△ 11.1	0.0
	10月～12月予想	△ 23.8	△ 40.0	△ 19.2	△ 40.0	△ 32.1	△ 11.1	16.6
売上	7月～9月実績	△ 39.3	△ 40.0	△ 42.3	△ 60.0	△ 39.2	△ 22.2	△ 16.6
	10月～12月予想	△ 15.5	0.0	△ 15.3	△ 30.0	△ 17.8	△ 22.2	16.6
受注残	7月～9月実績	△ 35.7	△ 40.0	***	***	***	△ 33.3	***
	10月～12月予想	△ 14.3	0.0	***	***	***	△ 22.2	***
施工高	7月～9月実績	△ 11.1	***	***	***	***	△ 11.1	***
	10月～12月予想	△ 33.3	***	***	***	***	△ 33.3	***
収益	7月～9月実績	△ 41.7	△ 40.0	△ 46.1	△ 60.0	△ 46.4	△ 11.1	△ 16.6
	10月～12月予想	△ 19.0	△ 20.0	△ 19.2	△ 30.0	△ 17.8	△ 22.2	0.0
販売価格	7月～9月実績	1.2	0.0	0.0	0.0	△ 3.5	11.1	16.6
	10月～12月予想	0.0	0.0	7.6	△ 10.0	△ 3.5	0.0	0.0
仕入価格	7月～9月実績	14.3	40.0	3.8	0.0	10.7	66.6	0.0
	10月～12月予想	13.1	20.0	7.6	0.0	10.7	55.5	0.0
在庫	7月～9月実績	0.0	0.0	7.6	△ 40.0	***	0.0	33.3
	10月～12月予想	0.0	0.0	7.6	△ 40.0	***	0.0	33.3
資金繰り	7月～9月実績	△ 15.5	△ 40.0	△ 11.5	△ 20.0	△ 21.4	11.1	△ 16.6
	10月～12月予想	△ 15.5	△ 40.0	△ 11.5	△ 20.0	△ 17.8	0.0	△ 16.6
残業時間	7月～9月実績	△ 6.0	0.0	△ 3.8	0.0	△ 7.1	△ 22.2	0.0
	10月～12月予想	△ 1.3	0.0	0.0	0.0	0.0	△ 11.1	0.0
人手状況	7月～9月実績	△ 19.0	△ 40.0	△ 15.3	0.0	△ 17.8	△ 33.3	△ 33.3
	10月～12月予想	△ 19.0	△ 40.0	△ 15.3	0.0	△ 21.4	△ 33.3	△ 16.6

県北地区

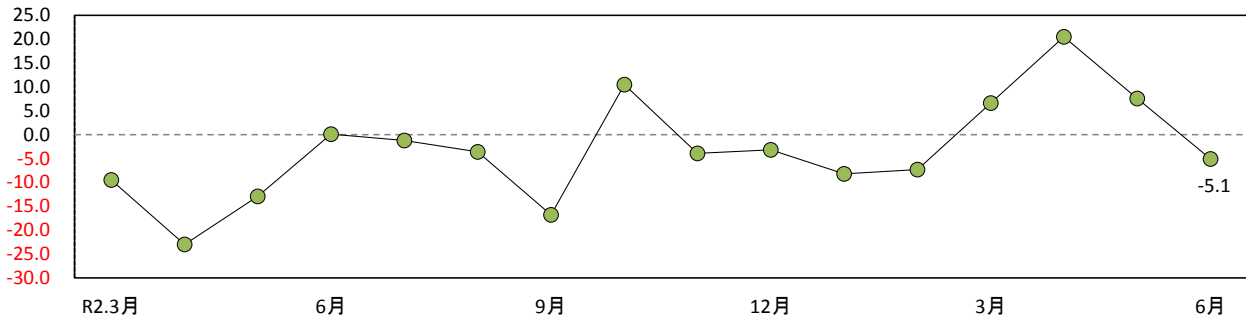
		総合	製造業	小売業	卸売業	サービス業	建設業	不動産業
業況	7月～9月実績	△ 15.0	△ 10.0	△ 12.5	△ 16.6	△ 100.0	12.5	0.0
	10月～12月予想	△ 15.0	△ 10.0	△ 12.5	△ 16.6	△ 100.0	12.5	0.0
売上	7月～9月実績	0.0	10.0	25.0	0.0	△ 75.0	0.0	0.0
	10月～12月予想	5.0	0.0	12.5	33.3	△ 50.0	12.5	0.0
受注残	7月～9月実績	△ 5.6	△ 10.0	***	***	***	0.0	***
	10月～12月予想	5.6	10.0	***	***	***	0.0	***
施工高	7月～9月実績	0.0	***	***	***	***	0.0	***
	10月～12月予想	0.0	***	***	***	***	0.0	***
収益	7月～9月実績	2.5	0.0	25.0	△ 16.6	0.0	0.0	0.0
	10月～12月予想	7.5	0.0	12.5	16.6	25.0	0.0	0.0
販売価格	7月～9月実績	12.5	20.0	12.5	16.6	△ 25.0	12.5	25.0
	10月～12月予想	12.5	0.0	12.5	16.6	0.0	25.0	25.0
仕入価格	7月～9月実績	35.0	40.0	25.0	33.3	△ 25.0	75.0	25.0
	10月～12月予想	27.5	10.0	12.5	33.3	0.0	75.0	25.0
在庫	7月～9月実績	2.8	0.0	12.5	△ 16.6	***	0.0	25.0
	10月～12月予想	2.8	0.0	12.5	△ 16.6	***	0.0	25.0
資金繰り	7月～9月実績	5.0	20.0	12.5	16.6	△ 25.0	0.0	△ 25.0
	10月～12月予想	7.5	20.0	12.5	16.6	0.0	0.0	△ 25.0
残業時間	7月～9月実績	△ 5.0	10.0	0.0	0.0	△ 25.0	0.0	△ 50.0
	10月～12月予想	△ 5.0	△ 10.0	0.0	16.6	△ 25.0	0.0	△ 25.0
人手状況	7月～9月実績	△ 20.0	△ 10.0	△ 25.0	△ 16.6	0.0	△ 37.5	△ 25.0
	10月～12月予想	△ 20.0	0.0	△ 25.0	△ 33.3	0.0	△ 37.5	△ 25.0

県内大型小売店販売額

令和3年6月の大型小売店販売額は前年同月比5.1%減少となっています。

(%) 大型小売店販売額(前年同月比)

(店舗調整前:経済産業省)

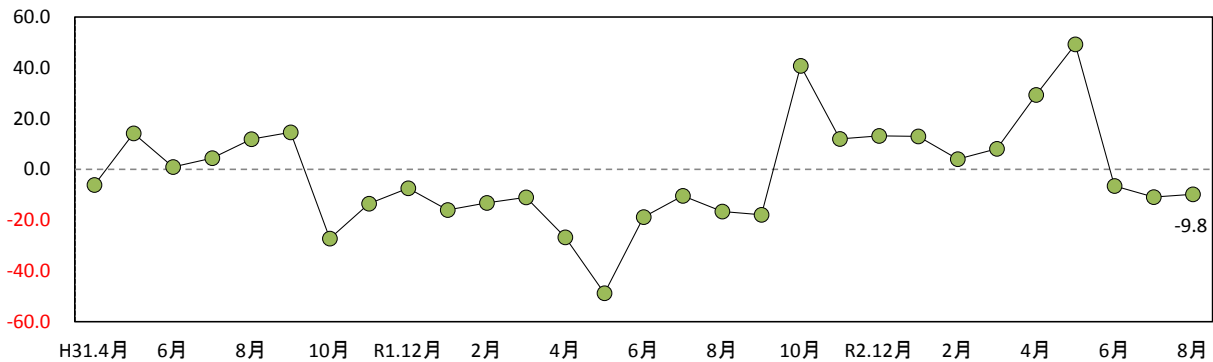


県内新車販売台数

令和3年8月の登録車と軽四輪車合計の新車販売台数(総計)3,206台で前年同月を9.8%下回りました。車種別では、普通乗用車が917台で前年同月比11.7%増加、小型乗用車が746台で前年同月比3.5%減少となりました。また、軽四輪車の合計は1,288台で前年同月比26.1%減少となりました。

(%) 新車販売台数(前年同月比)

(日本自動車販売協会連合会大分県支部調)

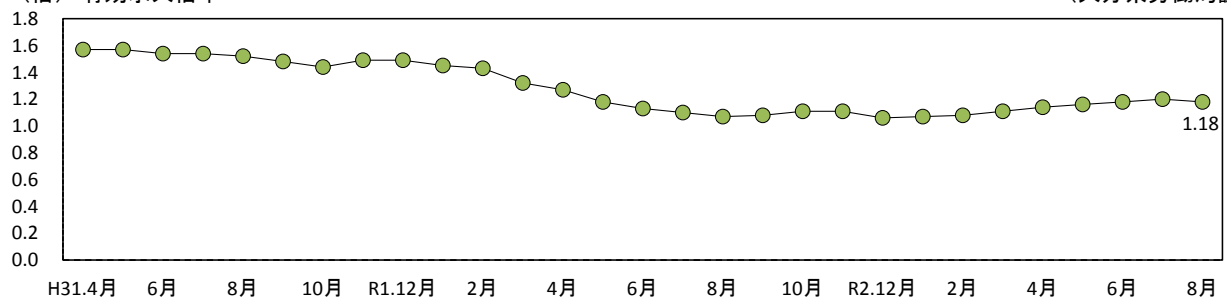


県内有効求人倍率

令和3年8月の有効求人倍率は、1.18倍(前月比▲0.02ポイント)となりました。地域別で見ると、大分管内1.29倍(前月比+0.02ポイント)、別府管内0.82倍(前月比+0.01ポイント)、中津管内1.28倍(前月比+0.01ポイント)となっています。

(倍) 有効求人倍率

(大分県労働局調)

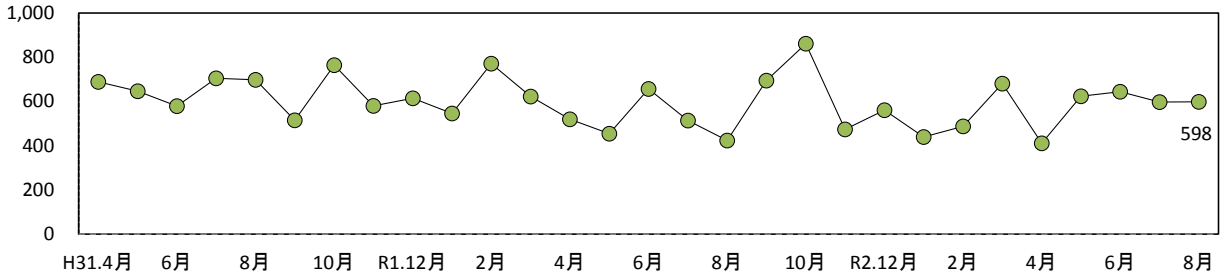


県内新設住宅着工戸数

令和3年8月の住宅着工戸数は598戸でした。そのうち、持家は215戸、貸家は254戸、分譲住宅は100戸となっています。

(戸) 大分県新設住宅着工戸数

(国土交通省調)



観光動向

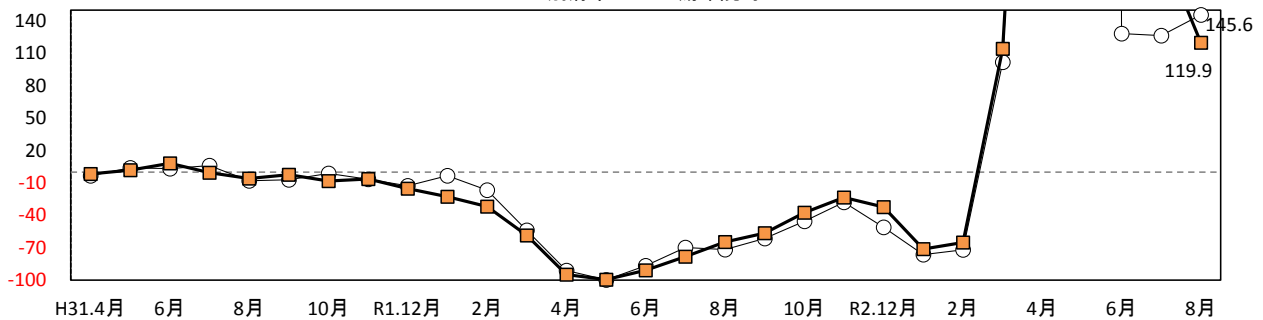
令和3年8月の宿泊人員は、前年同月比で、別府地区145.6%、湯布院地区119.9%となっています。

※令和3年4月～7月の数値は、値が突出しており、これまでの推移が分かりにくいため、グラフ外としています。

(%) 宿泊人員(前年同月比)

○ 別府市 □ 湯布院町

(当金庫調)



企業倒産状況

帝国データバンクの調査によると、令和3年9月の県内の企業倒産件数は1件で147百万円でした。令和3年の累計は30件7,439百万円となっています。

(百万円) 企業倒産

金額

件数

帝国データバンク調 (件数)

